

広報トピックス



〈サロモンカップかもい岳ジュニアスキー大会〉

1月3日から3日間、かもい岳スキー場で「サロモンカップかもい岳ジュニアスキー大会」が開かれ、全国から538人の小学生・中学生のジュニア選手たちが集まり、百分の一秒を競い合いました。



〈消防出初式〉

1月5日、公民館で消防出初式が行われ、消防職員・団員の分列行進や観閲式が催されました。このほか、長年にわたる功績に対し、元消防団長の亀谷三男（かめやみつお）さんをはじめ現役消防団員や婦人防火クラブの代表者が表彰を受けました。



〈新年交流会〉

1月4日、市と商工会議所共催による新年交流会が公民館で開催され、出席した1000人の皆さんが新年の挨拶を交わしました。市長は挨拶で「市民と一丸となり、活力ある歌志内の再生を目指し、安全安心なまちづくりの実現に向け全力を尽くします」と抱負を述べました。



〈百人一首かるた大会〉

1月10日、神威児童センターで百人一首かるた大会が行われ、子どもたちは木札の読みを教わりながら、真剣な表情でかるた取りに熱中していました。



〈子どもスキー教室〉

1月7日から3日間、市教委主催の子どもスキー教室がかもい岳スキー場で開催され、4歳から小学2年生までの子どもたちが楽しくスキーを学びました。

市民のひろば

俳句

歌志内俳句会選

忘れ得ぬひと言なりし姫椿 石塚 トキ
 仰ぎ見ること幾度も初御空 吉岡 ユカ
 初空へ号砲一発擲ゆれ 勝部 貞子
 生来の着た切り雀初御空 岡部 康一
 日々生きて振り向く間なし煤払ふ 柳谷 直明
 俳人の日々満ち足りて初硯 佐藤 清子
 ぼつぺんやモノクロの過去もどり来る 大沼 きみ
 初空や命の限り背伸びせむ 須藤 涼子
 派遣てふ言葉寒寒年明くる 根本 美恵

初空を鳶悠然と舞ひにけり 後藤 妙子
 戦なき御世であるべし淑気満つ 高瀬 仁孝

絵手紙

小松 京子



田中 順子



ありがとうございます
 ごぞいます

ふるさと納税

▽1件 現金1万円

■歌志内市へ 現金100万円
 ▽本町第二 明円 修さん

現金100万円

うちの子も げんきです



さ さ き かな お
佐々木 叶夢くん
とお母さん



東光三区
お父さん・秀明さん お母さん・美奈さん
長男（1歳1か月）

お母さんのひとこと

ボール遊びやおもちゃの車に乗ってやんちゃばかりしています。特技は、おしゃぶりを逆さまにくわえさせると、器用にクルッと舌で直すことです。人の気持ち分かるやさしい子に育ててほしいですね。



〈もちつきと竹スキー体験会〉

▲1月12日、もちつきと竹スキー体験会が開かれました。集まった子どもたちは、1時間ほど竹スキーを楽しんだあと、もちつきをして、お腹いっぱいもちを食べていました。



〈神威保育所雪中運動会〉

▶1月16日、神威保育所で雪中運動会が行われました。園児たちは寒さをもとめせず、そりを手でこいだり、雪をかき分け埋まった宝を探したりするなど元気がいっぱいでした。

子どもビデオ上映会

郷土館では、バレンタインデーにちなみ、心あたたまる子ども向けアニメビデオ上映会を次のとおり開催します。

- ▶とき 2月14日（土）・同15日（日）
午後1時～同3時
- ▶ところ 郷土館
- ▶入館料 大人100円、小・中学生50円
- ▶問い合わせ 郷土館（☎43～2131）



〈楽生園で慰問ボランティア歌謡ショー〉

▲1月21日、楽生園で歌謡ショーが行われ、老人施設などへ慰問ボランティアをしている「ひまわり姉妹」が5曲を熱唱し、会場から大きな拍手が湧いていました。また、どじょうすくいをひょうきんな表情で踊る姿に、入所者の皆さんは満面の笑みを浮かべて楽しんでいました。

図書館 だより

☎42～6900

行事

移動どうわ会

▲とき 2月13日（金）午後2時30分

▼ところ 神威児童センター

▼内容 本の読み聞かせ、紙しばい

移動としよかん

▼とき 2月19日（木）

▼ところ 西小学校（午後2時15分～同3時15分）

▼給食センター（午後3時30分～同4時）

▼市民体育館（午後4時15分～同4時45分）

読んでみませんか？

『壺霊 上・下』（内田康夫著）

老舗の骨とう店に嫁いだ女性が家宝の壺とともに失踪した。一方、清水寺の裏手には女性の他殺死体が……。京の都を舞台に、壺に魅せられた人々の哀切を描く、浅見光彦シリーズ最新作。

『夕映え天使』（浅田次郎著）

さびれた商店街で、小さな中華料理店を営む父と息子。店を訪れた1人の女性。何気ない日常の中の色鮮やかな一瞬を描き出す珠玉の短編集。

◆その他の新刊◆

『瑠璃でもなく玻璃でもなく』（唯川恵著）

『イノセント・ゲリラの祝祭』（海堂尊著）

『狂い咲き正宗』（山本兼一著）

『ギフト』（日明恩著）

『西行 月に恋する』（三田誠著）

平安時代末期、武士として生まれ、流鏑馬や蹴鞠を鮮やかにこなす一方で、歌を詠めば優れた才能をしめした佐藤義清。23歳で出家した後、常に激動する世の中を見つめ続けた西行法師の半生を描いた歴史小説。

『オリンピックの身代金』（奥田英朗著）

昭和39年夏、オリンピック開催の準備が着々と進む東京で、一件の脅迫状が警察に届けられた。東京オリンピックを妨害しようとするテロリストと警視庁刑事たちの戦いの行方は。